

工業用水道事業会計
令和3年度和歌山県工業用水道事業会計補正予算実施計画

収益的収入及び支出
支出

款	項	目	既決予定額	補正予定額	計	備考
1工業用水道事業費用	1営業費用		千円 794,640	千円 △3,422	千円 791,218	
			746,749	△26,440	720,309	
		3管理センター費	152,812	△10,944	141,868	給料 手当 法定福利費 △1,783 △5,628 △3,533
	2営業外費用	5一般管理費	120,455	△15,496	104,959	給料 手当 退職給付費 法定福利費 △7,170 △6,363 1,607 △3,570
		4消費税及び地方消費税	27,373	23,018	50,391	
				26,367	23,018	49,385

資本的収入及び支出
収入

款	項	目	既決予定額	補正予定額	計	備考
1資本的収入	1企業債		千円 416,000	千円 9,500	千円 425,500	
			416,000	△88,700	327,300	

		1企 業 債	416,000	△88,700	327,300	
	2国 庫 補 助 金		—	98,200	98,200	
		1国 庫 補 助 金	—	98,200	98,200	

支 出

款	項	目	既 決 予 定 額	補 正 予 定 額	計	備 考
1資 本 的 支 出	1建 設 改 良 費		千円 929,885	千円 △350,681	千円 579,204	
			919,885	△350,681	569,204	
		2有田川第3事業所	21,815	△6,630	15,185	
		3紀の川事業所	874,737	△344,051	530,686	

令和3年度和歌山県工業用水道事業予定キャッシュ・フロー計算書

(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

千円

1 業務活動によるキャッシュ・フロー

当年度純利益	39,739
減価償却費	204,327
退職給付引当金の減少	△31,409
賞与引当金の増加	1,332
その他の引当金の増加	5,169
長期前受金戻入額	△29,268
受取利息及び受取配当金	△367
支払利息	1,002
未収金の減少	14,274
貯蔵品の増加	△300
未払金の増加	44,508
雑流動負債の増加	<u>3,059</u>
小計	252,066
利息及び受取配当額	367
利息の支払額	<u>△1,002</u>
業務活動によるキャッシュ・フロー	251,431

2 投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の取得による支出	△78,023
----------------	---------

国庫補助金等による収入	<u>10,268</u>
投資活動によるキャッシュ・フロー	△67,755
資金増減額	183,676
資金期首残高	<u>2,931,363</u>
資金期末残高	3,115,039

令和3年度和歌山県工業用水道事業予定貸借対照表

(令和4年3月31日)

	千円	千円	千円
資 産 の 部			
1 固 定 資 産			
(1) 有 形 固 定 資 産	10,626,810		
減 価 償 却 累 計 額	<u>△6,480,738</u>		
有 形 固 定 資 産 合 計		4,146,072	
(2) 無 形 固 定 資 産			
無 形 固 定 資 産 合 計		1,145	
(3) 投 資 そ の 他 の 資 産			
長 期 貸 付 金	<u>1,500,000</u>		
投 資 そ の 他 の 資 産 合 計		<u>1,500,000</u>	
固 定 資 産 合 計			5,647,217
2 流 動 資 産			
(1) 現 金 預 金		3,115,039	
(2) 未 収 金		61,000	
(3) 貯 蔵 品		<u>944</u>	
流 動 資 産 合 計			<u>3,176,983</u>
資 産 合 計			<u><u>8,824,200</u></u>
負 債 の 部			
3 固 定 負 債			
(1) 引 当 金		<u>150,632</u>	

固 定 負 債 合 計			150,632
4 流 動 負 債			
(1) 未 払 金		79,000	
(2) 引 当 金		16,859	
(3) 雑 流 動 負 債		<u>3,756</u>	
流 動 負 債 合 計			99,615
5 繰 延 収 益			
(1) 長 期 前 受 金		2,224,667	
長 期 前 受 金 収 益 化 累 計 額		<u>△1,609,770</u>	
繰 延 収 益 合 計			<u>614,897</u>
負 債 合 計			<u><u>865,144</u></u>
	資 本 の 部		
6 資 本 金			
(1) 資 本 金			
イ 固 有 資 本 金	163,544		
ロ 組 入 資 本 金	<u>4,539,756</u>	<u>4,703,300</u>	
資 本 金 合 計			4,703,300
7 剰 余 金			
(1) 資 本 剰 余 金			
イ 受 贈 財 産 評 価 額	147,572		
ロ 国 庫 補 助 金	54,445		
ハ そ の 他 資 本 剰 余 金	<u>157,842</u>		
資 本 剰 余 金 合 計		359,859	

(2) 利益剰余金

イ 利益積立金

163,500

ロ 建設改良積立金

2,522,658

ハ 当年度未処分利益剰余金

39,739

ニ 過年度未処分利益剰余金

170,000

利益剰余金合計

2,895,897

剰余金合計

3,255,756

資本金合計

7,959,056

負債資本合計

8,824,200

注 記

I. 重要な会計方針に関する注記

1 資産の評価基準及び評価方法

貯蔵品 先入先出法による原価法によっている。

2 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産

・減価償却の方法

定額法による。

・主な耐用年数

建 物 8～50年

構 築 物 10～60年

機械及び装置 2～22年

工具器具及び備品 5～15年

車 両 6年

(2) 無形固定資産

・減価償却の方法

定額法による。

3 引当金の計上方法

(1) 退職給付引当金

職員の退職手当に備えるため、当年度の退職手当の期末要支給額に相当する額を計上している。

(2) 賞与引当金

職員の期末・勤勉手当及び法定福利費の支給に備えるため、当年度末における支給見込額に基づき、当年度の負担に属する額（12月から3月までの4ヶ月分）を計上している。

(3) 貸倒引当金

貸倒実績がないため、計上していない。

4 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっている。

II. 予定キャッシュフロー計算書等に関する注記

該当なし。

III. セグメント情報に関する注記

1 報告セグメントの概要

和歌山県工業用水道事業会計は、有田川第1事業所、有田川第3事業所及び紀の川第2事業所の3つの事業所を運営しており、各事業所で運営方針等を決定していることから、有田川第1事業所、有田川第3事業所及び紀の川第2事業所の3つを報告セグメントとしている。

なお、各報告セグメントに属する事業の内容は次のとおりである。

事業区分	事業の内容
有田川第1事業所	工業用水道給水
有田川第3事業所	工業用水道給水
紀の川第2事業所	工業用水道給水

2 報告セグメントごとの営業収益等

当年度（自 令和3年4月1日 至 令和4年3月31日）

（単位：千円）

	有田川第1事業所	有田川第3事業所	紀の川第2事業所	合計
セグメント資産	1,369,407	4,606,337	2,848,456	8,824,200
セグメント負債	112,637	432,554	319,953	865,144
その他の項目				
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	21,530	18,441	38,043	78,014

IV. 減損損失に関する注記

該当なし。

V. リース契約により使用する固定資産に関する注記

該当なし。

VI. 重要な後発事象に関する注記

該当なし。

VII. その他の注記

該当なし。